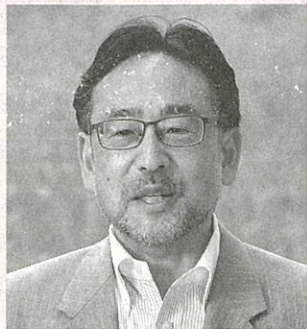


# 変えるべきは日本の身分制度 地方の豊富な人材生かせ

**藻谷浩介さん** 地域エコノミスト



もたに・こうすけ / 1964年生まれ。日本総研調査部主席研究員。平成の大合併前には、全国の市町村を自費で訪問し、地方創生に邁進した。著書に「デフレの正体」や「里山資本主義」(共著)など



Public Meets Innovation代表  
シェアリング  
エコノミー協会常任理事  
**石山アンジュさん**

いしやま・あんじゅ / 1989年生まれ。「男に対する女、都会に対する田舎、所有に対するシェアなど、令和の身分制度の根底にある価値観をひっくり返す提案を続けている」と藻谷さん



「風と土と」代表取締役  
**阿部裕志さん**

あべ・ひろし / 1978年生まれ。鳥根県海士町で、企業の人材育成や出版社「海士の風」を運営する会社を起業。藻谷さんは「人口2千人余りの孤島で、全国スケールでものを動かしつつ、地域づくりを続けている」と魅力を説明



「真野鶴」5代目蔵元  
**尾畑留美子さん**

おばた・るみこ / 1965年生まれ。映画配給会社勤務を経て、95年に家業を継ぐ。「佐渡島という小さな小さな小宇宙にこそ、世界に通じる価値があることを発掘し、活用し、広め続けている人」と藻谷さん



地方創生活動家  
**木下 齊さん**

きのした・ひとし / 1982年生まれ。国内外で事業型まちづくりを研究し実践。「狂犬とのあだ名もある直言人だが、都会や学歴などの身分を相対化する視点で、よりよい地域を目指す人を支援している」と藻谷さん



ひじき漁師、  
山口県周防大島町  
集落支援員  
**栄 大吾さん**

さかえ・だいご / 1989年生まれ。銀行に勤務した後、脱サラ。「高齢化で日本の100年先に行く」山口県周防大島町へ移住し、「本気の地域おこしを行いつつ発信する、まさに価値観を変える若者」と藻谷さん

# 「こうあるべき」に従わない 自分の納得感を大事に

**杉本亜美奈さん** fermata CEO



すぎもと・あみな / 1988年生まれ。父が国連関連の仕事をしていたため、アフリカのタンザニアで育ち、日本、英国、ドイツの大学で学ぶ。2019年にフェムテックを手がける「フェルマータ」を起業



Mistletoe代表、  
ベンチャー投資家  
**孫 泰蔵さん**

そん・たいぞう / 1972年生まれ。「起業家一人ひとりの価値観を壊し、再構築するという作業に、根気強く取り組んでくださる方。それを乗り越えれば、面白い事業を生み出せると思う」と杉本さん

ドイツの月経周期管理アプリ  
「Clue」CEO

**Ida Tinさん**

デンマーク出身の女性起業家で、「フェムテック」の言葉を編み出した。「女性の健康課題がタブー視され、資金が集まりにくいなか、言葉を創り投資家の目線を変え、潜在市場を加速させた」(杉本さん)



ユナイテッド・  
ワールド・カレッジ  
ISAKジャパン代表理事  
**小林りんさん**

こばやし・りん / 1974年生まれ。外資系投資銀行や国連児童基金などを経て、全寮制国際高校を開校。「テストでは測れない力を得られる場をつくりあげた『教育の当たり前』を変える存在」と杉本さん

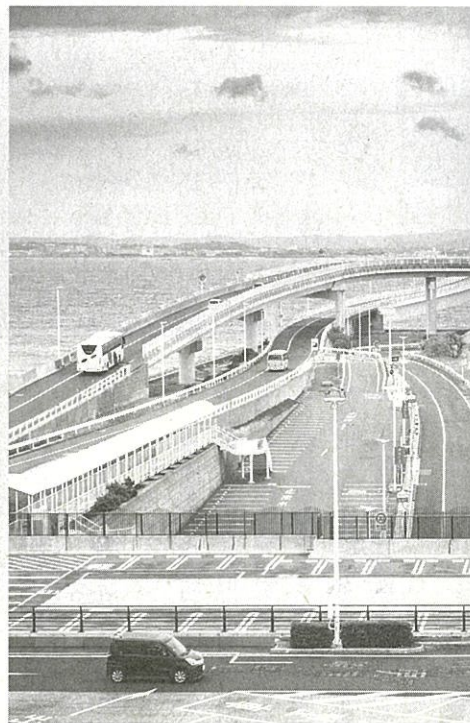
fermataメンバー  
**片山晴菜さん**

かたやま・はるな / 1998年生まれ。アメリカ留学などを経てミネルバ大学に初の日本人として入学。「自分にリミットをかけず、グローバルに挑戦する姿は若い世代の可能性を象徴する存在」(杉本さん)

fermata 主催イベントに来た  
80代の女性

東京・六本木で開催した「Femtech Fes! 2021」に新聞記事を見て参加。「かつての日本に存在した性教育や価値観についての話は、固定観念を壊してくれた。先輩方と一緒にフェムテック産業をつくっていきたい」(杉本さん)

自分の信念を貫くことと、相手の意見に耳を傾け寛容であること。一見相反するこの二つの要素が、変化を起こすためには重要だ



「変えるべきは、日本に根付く身分制度です」

そう説明するのは、地方創生に長年取り組む日本総研の藻谷浩介さん(57)だ。各地を訪れて目の前にあるものを見つめるなかで、ある問題に気づいた。

人材は豊富なのに、都会と田舎、正社員と非正規社員、年齢などの「身分」が社会を縛っている。まるで幕末のようだと感じた。それを打破するためには、「色眼鏡なく、事実をありのままに見て認識する能力と習慣をつけること」だと指摘する。

フェムテックのベンチャー「フェルマータ」を19年に起業した杉本亜美奈さんは「自分が納得できているか」を重視する。海外生活が長く、常に自分の価値観が試される日々。幼い頃から、「こうあるべき」に従う習慣はなかった。

「他人の常識は自分の常識ではない」という状況が当たり前。自分の納得感を大事にしていると、周りにも自分を貫く人が集まってくるように感じています」

大切なのは、「自分の頭」で考えること。シンプルに思えるが、実践するのは意外と難しい。「指示されるまま行動するのではなく、自分の中で物事を組み立ててアウトプットする。それが何かを変えられる力になると思います」